

2006 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教職3回生	担当者 開沼 太郎
授業テーマ 学校教育の現状や理論的／制度的課題、新たな教育実践などについて考察を深める。		
授業の概要と目標 学校を取り巻くさまざまな教育課題を対象に、学校教育の現状や問題点の認識を出発点として、教育の理論的課題、教育制度や教育政策の展開、新たな教育実践などについて、各自の興味関心をもとに検討する。同時に、研究および教育の技法の向上をはかるべく、報告や調べ学習の中で情報機器の活用をはかる。		
評価方法 演習への関与（出席状況、発言・報告内容、課題提出など）をもとに総合的に評価する。 試験は実施しない。		
テキスト 講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。	著者	出版社
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 内容は、学校教育に関するテーマを中心に、初回のオリエンテーションにて受講者各自の関心を参考に決定する。 授業は個人もしくはグループによる報告に基づいて進める。文献解題や調査報告、これらに基づいたプレゼンテーションと相互評価を中心とする予定である。 テーマは学校教育に関するものを中心に、各自の関心に基づいて決定する。 「いじめ」や「不登校」、「学級崩壊」のような「学校教育病理」に関する課題や、「総合的な学習の時間」、「教育の情報化」、「開かれた学校」などの新たな教育実践に関する検討など、教育制度や教育方法、教育内容をはじめとしたさまざまな理論的・実証的なテーマについて理解を深めるような内容で進める予定である。 基本的に、各自が興味関心に基づいて決定したテーマに沿って研究報告を行い、参加者全員で考え、話し合い、理解を深めることによって互いの関心の共有を目指す。卒業研究に向けて自身の問題意識を明確にするため、授業には積極的な姿勢で臨むよう期待する。 ※ 授業では、コンピュータや携帯電話（情報端末）など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。		